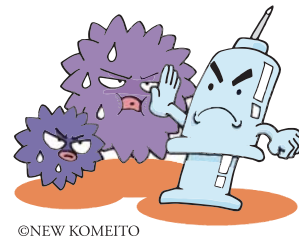


文京区が23年度予算案

子宮頸がん

ヒブ

小児肺炎球菌



©NEW KOMEITO

予防ワクチン接種が無料化へ

女性特有のがんである「子宮頸がん」の予防ワクチン接種について、文京区は平成23年度の中学1年生～高校1年生にあたる方を対象に、無料で受けられるようにすることを同年度予算案に盛り込みました。今年4月から、無料で接種できるようになります。あわ

せて、ヒブ(インフルエンザ菌b型)、小児用肺炎球菌の予防ワクチンも無料になります。子宮頸がんの予防ワクチンは合計4～6万円と高額で、子育て世帯には大きな負担です。公明党文京区議団は「100%公費で行うべき」と訴え続けてきました。

対象	接種回数	費用		
		現状の個人負担額	現状の助成額	平成23年度からの個人負担額
子宮頸がん	3回	計40,000円～60,000円	—	実現すると... 0円!
ヒブ	接種開始の月齢によって1～4回	1回あたり7,000円～9,000円	1回あたり3,000円を助成	
小児肺炎球菌	接種開始の月齢によって1～4回	1回あたり7,000円～12,000円	—	

公明の取り組みを文京区長も高く評価

公明党文京区議団は、ワクチン接種を公費で全額助成するよう強力に推進。22年9月21日には、成澤廣修区長に対して公費助成を求める要望書を手渡しました(写真)。

成澤区長は「この問題をリードされてきたのは公明党」と高く評価。さらに「前向きに検討を進めてまいります」との返答を引き出すなど、公明党区議団は一貫してワクチンの早期承認・早期助成を推進してきました。



“幸齢”社会を大きく後押し!

高齢者安心見守りネットがスタートへ!

高齢者の日常生活を支援・充実させるため、75歳以上で一人暮らしをしている高齢者と高齢者のみの世帯のうち、地域で見守りが必要な方、また希望する方を、見守りサポーターが定期的に訪問します。

地震からお年寄りを守ります!

65歳以上の高齢者を対象に、耐震診断や耐震工事に対する費用の助成金等を優遇します。

一人暮らし緊急連絡カードの設置を推進!

一人暮らしをする65歳以上の高齢者を対象に、緊急連絡先等、かかりつけの病院名や担当医の連絡先が記入されているカード(写真)を設置します。

